

## 保護者のみなさまへ

～「令和5年度全国学力・学習状況調査及びすくすくウォッチ」の結果について～

河内長野市立小山田小学校

### 《基本的な考え方》

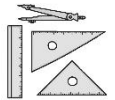
全国学力・学習状況調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況の把握・分析を行い、教育施策の成果と課題の検証及びその改善を図ること。また学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを通じて教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的にしています。

またすくすくウォッチは、子どもたちに各教科の学力に加え、ことばの力や文章、情報を読み取り考える力、様々な情報を活用する力、そして「見えない学力」と言われるねばり強さや好奇心などを育む、大阪府としての取り組みです。

これらをふまえて、本校では、次に挙げるような成果が期待されると考えております。

○子どもたちは、それぞれの学習の到達状況を知ること、学習意欲を高め、自ら目標を持って今後の学習の改善や励みになる。

○学校は、自校の状況をより詳細に分析することで、子どもたちの確かな学力及び教員の指導力・授業力の向上につながる。



### 《調査結果の取り扱い》

今年度は、全国学力・学習状況調査とすくすくウォッチの結果と分析を提供いたします。

◇本調査により測定できるのは、学力の限られた一部分であり、学校における教育活動の一つの側面です。すべての学力を捉えられているものではないことに十分留意して取り扱うことが必要です。

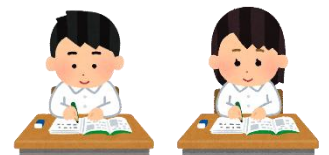
◇学校は、「子どもにどのような力がついてきたのか」「学校がどのような教育を進めているのか」「子どもの学習状況や生活習慣等にどのような良い点・課題があるのか」など、一人ひとりの学力向上の取り組みの改善とともに、学校における課題を整理して、課題改善する取り組みを進めていきます。

### 《お願い》

□学習への意欲は、子どもの自尊感情と大きな関係があります。友だちやきょうだいと比較することは、意欲を低下させる場合があります。今回の結果からお子様の伸びや課題を知り、まずはお子様の良いところを褒めてください。その上で、課題について頑張って克服できるよう励ましてあげてください。そのことがお子様の学習意欲を高めることにつながります。

□学力の向上は学校が主にその役割を担いますが、各家庭におかれましても、今回の結果を子どもたちの基本的な生活習慣の見直しや今後の家庭学習の進め方等の参考にさせていただきますようよろしくお願いいたします。

□調査結果のうち、正答率については、調査に参加した子ども並びに保護者の方にのみ提供しています。学校間の序列化や過度な競争につながらないよう、その取り扱いについては、十分にご留意いただきますようお願いいたします。



【 国語 】

**概要**

平均正答率は、「知識・技能」「思考・判断・表現」とともに、大阪府より上回っていた。全体的に、国語の力はついていると考えられる。無回答率も低い。

**特に成果が見られた問題例**

- ② (1) (2) 「文中の助詞を正しく使う問題」では、全員が間違った助詞を正しいものを書き直すことができている。
- ⑤ (1) 「ことわざの意味を正しく理解する問題」では、全員が「ちりも積もれば山となる。」のことわざの意味を正しく理解している。
- ⑥ (1) (2) 「反対の意味を表す言葉を理解する問題」では、「薄い」の対義語「失敗」の対義語、共によく理解している。
- ⑫ (1) 「文の中における修飾語と被修飾語の関係を捉えて、文の内容を正しく理解する問題」では、正答率が大阪府より高く、よく理解している。

**特に課題が見られた問題例**

- ⑦ (1) 「文を正しく理解し、指示語の指示内容を正しくとらえる問題」は、大阪府の正答率を唯一下回っている。文をよく読み理解していないと解けない問題で、よく似た選択肢の中から答えを選ぶため、指示語の指示内容が正しくとらえられていない。
- ⑨ 「適切な接続語を使って1文を2文に分けて書く」ことはできるが、⑩ 「適切な接続表現を使って2文を1文に書き直す」ことは、正答率が低い。文を切ってつなぎ言葉を使うことはできるが、文をまとめ整えることは難しい。

【 算数 】

**概要**

平均正答率は、「知識・技能」「思考・判断・表現」とともに、大阪府より上回っていた。無回答率も低い。

**特に成果が見られた問題例**

- ① (1) 「わり算を使う問題」では、正答率が高く、文章から立式し、正確に計算することができている。
- ② (2) 「2つの数量関係を式に表す問題」では、数量の変化や関係を読み取り、□や△を使って式に表すことができている。

**特に課題が見られた問題例**

- ② (3) 「2つの面積の差を求める問題」では、公式を使って面積を求め、大きさを比べることに課題がある。
- ② (4) 「考えを説明する問題」では、正答率が低く、無回答率が高い。問題文から読み取り、順序立てて考えることや説明する力が弱いことが分かる。また、図形の性質の知識の定着や算数用語を使って自分の考えを文章化することに課題があることも分かる。

【 理科 】

**概要**

平均正答率は、「知識・技能」「思考・判断・表現」とともに、大阪府を上回っていた。日常生活に関連する記述問題の無回答率も大阪府と比べて低く、意欲的に取り組む姿勢が見られた。

**特に成果が見られた問題例**

- ① (2) (3) 「閉じ込められた空気について問う問題」では、空気の性質を日常生活と関連付けて理解することができている。
- ② (3) (4) 「植物の成長と観察について問う問題」では、虫眼鏡の正しい使い方を理解し、植物の名称を答えることができている。

**特に課題が見られた問題例**

- ② (1) 「観察記録からグラフを選択する問題」では、資料から気温と桜の開花の関係を捉えられず、ふさわしいグラフを選べていない。
- ② (6) 「昆虫の体のつくりを理解し、昆虫を選ぶ問題」では、半数以上が昆虫の体のつくりの知識が定着していない。

## 【わくわく問題（教科横断的な問題）】5年

### 概要

平均正答率は、大阪府より下回っていたが、観点別にみると、「興味関心のある事柄について、意欲的に工夫して伝えようとする」分野の正答率が、非常に高かった。記述式問題においても、無回答率が大阪府より低いものが多く、意欲的に解こうとする姿勢が見られた。

### 特に成果が見られた問題例

① (3) 「ソースの容器として、どちらを選ぶか自分の考えを書く問題」では、容器という身近な題材の特徴を捉え、自分の考えを伝えることができています。

③ (3) 「世界中の人に分かりやすく伝えることを目的とした問題」では、相手の立場に立って物事を考え、相手にわかりやすく伝えるために工夫して表現することができています。

### 特に課題が見られた問題例

① (1) (2) 「資料の内容をまとめた図からふさわしいものを選びとる問題」の正答率が低い。図や表などの資料の内容を関連付けて正しく捉える力が弱い。

② (1) 「論理的に考え、適切な資料を選びとる問題」では、資料の情報を順序よく整理し、考えることに課題がある。

## すくすくウォッチ 5年生 児童アンケート

### 特に成果が見られたアンケート項目例

- ・あなたの学級は友だちの良いところを互いに認め合える [あてはまる・ややあてはまる 92.9%]
- ・悲しんでいる人を見るとなぐさめたくなる [あてはまる・ややあてはまる 92.8%]
- ・文章を読むときどこが大事なところか考えながら読んでいる [あてはまる・ややあてはまる 83.4%]

### 特に課題が見られたアンケート項目例

- ・ふだん（月曜日から金曜日）1日当たりどれくらいの時間、学習以外（ゲームやSNS等）にスマートフォンやタブレット等を使っていますか [3時間以上 40.5%]
- ・その時間のめあてを意識して学習している [あてはまらない・どちらかといえばあてはまらない 33.3%]
- ・話し合う場面で自分の考えを深めたり、広げたりしている [あてはまらない・どちらかといえばあてはまらない 47.6%]
- ・授業で学んだことを、ふだんの生活にいかすようにしている [あてはまらない・どちらかといえばあてはまらない 35.7%]

## 全国学力・学習状況調査の概要

## 【 国語 】

**概要**

全体の正答率が、大阪府を少し上回り、全国とほぼ同じ結果となった。全体の傾向としては選択肢から選ぶ問題の正答率は高く、特に「知識・技能」の「情報の扱いに関する事項」の正答率が高かった。しかし、「知識・技能」の「言葉の特徴や使い方に関する事項」の正答率は低かった。

**特に成果が見られた問題例**

- 1 一「情報と情報との関係を捉える問題」では、原因と結果の関係が理解できている。
- 2 四「文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめる問題」では、運動と食事という身近な題材から、自分ができるようなことを考えてまとめることができている。
- 3 一(1)「質問をした理由を選ぶ問題」では、前後の文章から質問の意図を捉えることができている。

**特に課題が見られた問題例**

- 1 三(1)ア「漢字を文中で正しく使う問題」では、「意外」と書き直すことができず、文脈に沿って漢字を使う力が弱い。
- 3 二「目的や意図に応じて話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめる問題」では、条件に合わせて情報を取り出しまとめる力が弱く、無回答の児童もいる。

## 【 算数 】

**概要**

平均正答率は、「知識・技能」「思考・判断・表現」とともに、全国・大阪府とほぼ同じ結果であった。「数と計算」の領域はおおむねできていた。基礎的な知識や意味は理解できており、選択問題の正答率が高いが、文章問題や記述で解答する問題に関しては、正答率が低かった。

**特に成果が見られた問題例**

- 1 (1)(2)「伴って変わる二つの数量関係を考える問題」では、比例の基本的な考え方はできている。
- 3 (2)「加法・乗法を活用する問題」では、示された日常生活の場面を解釈し、結合法則などを用いた式や言葉で記述し、答えを求めることができている。
- 4 (4)「二次元の表から読み取る問題」では、条件に合う数を読み取ることができている。

**特に課題が見られた問題例**

- 2 (3)「正三角形の意味や性質を問う問題」では、正三角形の一つの角の大きさが60度であることを理解していない児童が半数いる。図形の性質が理解できておらず、角の大きさを求めることができていない。
- 2 (4)「底辺と面積の関係を基に面積を求める問題」では、本校を含め全国的に正答率が低い。三角形の概念が理解できておらず、数値がなくても面積を比較できることに考えが至っていない。
- 4 (3)「複数の棒グラフを組み合わせた問題」では、グラフを読み取り考察する力が弱く、情報が増えるほど問題の意図を把握することが難しい。無解答率も高い。

## すくすくウォッチの概要

### 【 理科 】

#### 概要

全体の平均正答率が大阪府より少し上回る結果となった。傾向としては「思考・判断・表現」の平均正答率が大阪府に比べて高かった。  
記述式問題の平均正答率も大阪府より高かった。

#### 特に成果が見られた問題例

「地球」を柱とする領域の正答率が全体的に高かった。特に②(2)「月の観察記録に必要な内容を選択する問題」②(4)「月の動きを観察カードから考察する問題」では、大阪府の正答率を上回っている。

②(5)「雲の様子を問う問題」では、正答率が高く、知識が身についている。

#### 特に課題が見られた問題例

①(2)「閉じ込められた空気の性質を問う問題」①(3)「閉じ込められた空気の性質を利用している身の回りの例を選ぶ問題」では、大阪府の正答率を下回っている。このことから、見えないものの存在をとらえにくい児童が多いと考えられる。また、実生活との結び付きを意識できていない。

### 【わくわく問題（教科横断的な問題）】

#### 概要

観点別に比較すると「D資料を読み取り、それをもとに自分の考えをまとめる」のみが大阪府の平均正答率より低かった。その他の観点は大阪府よりも高かった。無解答率はすべて大阪府より低く、意欲的に取り組んだことがうかがえる。また、文章や資料から必要な情報を読み取る問題で成果が見られた。

#### 特に成果が見られた問題例

②(3)「いくつかの社会問題を示した資料から、1つを選び解決案を提示する問題」では、どのような問題が書かれているか、どのような解決策があげられるかという条件に沿って、自分の考えを説明することができている。特に③(2)「案内所を示す記号についての会話に合う資料を選ぶ問題」では各資料が示している内容と会話の内容を照らし合わせ、正しく選び出すことができおり、大阪府の正答率を大きく上回っている。

#### 特に課題が見られた問題例

①(2)「資料から読み取った内容を自分の言葉で表現する問題」では、中心となる必要な情報だけを読み取り表現することに課題があると考えられる。  
③(1)「複数ある記号を分類し整理する問題」では、正答率が低い。分類できていなかったり、ふさわしい言葉でまとめることができていなかったりしたことが原因と考えられる。

## 全国学力・学習状況調査及びすくすくウォッチ 6年生 児童アンケート

### 特に成果が見られたアンケート項目例

- ・今回の国語・算数の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか  
[全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した 85.5%]
- ・あなたの学級は友だちが困っているときには助け合う  
[あてはまる・ややあてはまる 95.1%]
- ・あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか  
[あてはまる・どちらかといえばあてはまる 83.9%]

### 特に課題が見られたアンケート項目例

- ・ふだん（月曜日から金曜日）1日当たりどれくらいの時間、学習以外（ゲームやSNS等）にスマートフォンやタブレット等を使っていますか  
[3時間以上 51.6%]
- ・授業で学んだことを普段の生活にいかすようにしている  
[あてはまらない・どちらかといえばあてはまらない 38.7%]
- ・家で自分で計画を立てて勉強をしていますか  
[全くしていない・あまりしていない 58.1%]
- ・学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）  
[全くしない・10分より少ない 53.2%]

## 結果を受けて

### 【学校が重点的に取り組んでいくこと】

- ・漢字や計算などの基礎的な技能を繰り返し定着させ、日常生活でも活用できる力を養う。
- ・学習内容が他教科や日常生活にどのように活かせるのかを意識できる授業を行う。
- ・物事を順序だてて論理的に考える力をつけるような学習を取り入れる。
- ・読みを深め、文章の中から問われていることに必要な情報や条件を取り出し、概要を理解する力を養う。
- ・複数資料から物事を考察する機会を増やし、着眼する部分やそこから分かることを確認させたり、それらの関係性を捉えさせたりするなどの段階的指導をする。
- ・自分の考えと比べたり、分からないことを質問したりして、双方向の話し合いをめざす。聞く側は相手の意見をきちんと聞き、話す側も相手を意識することで、自分の考えを深められるようにする。
- ・書く活動では、モデルとなる型を提示し、書くスキルを身に着けるとともに、自分の考えを表現する力を養う。
- ・自分の意見や考えをまとめたり、共有したりするためのツールとしてICTを活用し、主体的に学習する態度を養う。
- ・学校生活の中で、何が正しいか自分で考えて行動できるよう指導する。

### 【児童のみなさんにしっかり取り組んでほしいこと】

- ・習った漢字や計算など基礎基本の学習にしっかり取り組み、日常生活で積極的に使いましょう。
- ・自分の考えをもち、書いたり発表したりしましょう。友だちの意見と比較し、良いところを見つけ、自分の意見にいかしましょう。
- ・めあてや目的を持ち、粘り強く学習に取り組みましょう。
- ・自分から進んで計画をたてて勉強することが大切です。興味・関心のあることや苦手な教科の復習など自主勉強に積極的に取り組みましょう。
- ・ICT機器は使い方によって良い面も悪い面も生まれます。学校で学んだことやおうちでの約束をしっかり守り、より良い使い方ができるようにしましょう。
- ・読書は今まで知らなかった世界や考え方を示してくれます。多くの本に触れ、その時に感じたことを読書ノートに書きましょう。
- ・毎日の学校生活を支えているのは、基本的な生活習慣です。「早寝・早起き・朝ごはんを食べる」を心がけましょう。

### 【保護者のみなさまに協力していただきたいこと】

- ・子どもの安定した生活を支えるものは、基本的な生活習慣です。「起床、朝食、登校、夕食、就寝」などの生活習慣の確立を今後もお願いします。
- ・ご家庭において、一定時間机に向かうことは、学習の定着とともに家庭学習の習慣づけを行ううえでも重要です。学校からの宿題だけでなく、自主勉強など主体的に学習に取り組めるようご家庭でもご協力をお願いします。
- ・子どものスマホやゲームの使用時間が増えています。使用する時間の管理をお願いします。またSNSなど投稿する言葉や内容にしっかり目を向けておいてください。約束ごとを決め、守ることで、子どもたちが気持ちよく生活することができます。
- ・会話の時間を大切にし、できるようになったこと、頑張り続けていることなど具体的な言葉で頑張りをお認め、ほめてあげてください。